

宇都宮市からの
お知らせ



障がい者支援アプリ 「わく・わくアプリU」をご利用ください。

アプリをダウンロードすると、障がいのある人やその介護者が、障がい特性に応じて必要な情報をいつでもどこでも簡単に取得できます。Web版もあります。

ダウンロード方法

アプリ



iOS



Android

Web版

<https://lg-pwd.jp/home?citycode=092011>



ダウンロードするだけで利用できる機能

① 障がい福祉サービスの検索



障がいの種別や等級などから、利用できる福祉サービスを検索し、サービスの内容や利用に必要な申請書類をいつでも確認できます。

② 事業所情報・空き情報の検索



サービスの種類や場所、障がい種別などから事業所を絞り込み、事業所情報を写真などで確認し、特徴や空き情報を知ることができます。

③ 施設のバリアフリーマップ



公共施設や商業施設の多目的トイレの有無や、施設入口のスロープの設置状況など、バリアフリー情報を写真等で確認することができます。

会員登録することで充実する機能

④ お知らせ配信

ダウンロードするだけで、本市障がい福祉施策やイベント情報をプッシュ通知で受け取ることができます。さらに、会員登録すると、障がい者手帳や各種サービスの更新手続きの案内なども受け取ることができるようになります。

※会員登録には、氏名や住所の入力は不要です。

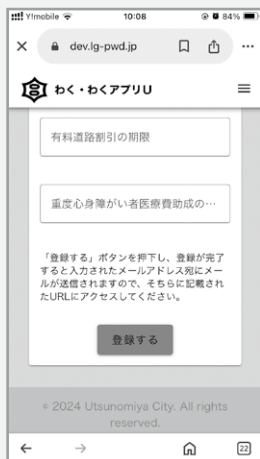
登録方法



ホーム画面ページ下の「ログイン/無料会員登録」を押す。



青字の「新規会員登録の方はこちら」を押す。



必要事項を入力し、ページ下の「登録する」を押す。



入力したアドレスに届くメールに記載されたURLにアクセスし登録完了。

アプリの操作説明会

- 日時：令和7年1月22日(水) 午後1:30～3:30
- 場所：市総合コミュニティセンター（明保野町）
- 対象：障がいのある人、介護者など
- 内容：アプリの機能や基本操作の説明

※希望者には、説明会後に、ダウンロードをお手伝いします。申込は不要。直接、会場にお越しください。

問い合わせ先

宇都宮市障がい福祉課 028-632-2353

おめでとうございます ~令和6年度表彰者~

▼第30回栃木県民福祉のつどい とちぎ福祉プラザ（8月29日）

▽栃木県知事表彰

自立更生

丸田シズエ（視覚）

▽栃木県身体障害者
団体連絡協議会会長表彰

自立更生

小口 巖（肢体）

更生援護功勞

齋藤 容子（肢体）

更生援護功勞

山下 文人（発声）

更生援護功勞

高橋 正明（発声）

▼第18回宇都宮市民福祉の祭典 宇都宮市役所（11月23日）

▽宇都宮市長表彰

自立更生

佐藤 佳美（視覚）

支援功勞

高橋 勝巳（発声）

支援功勞

小杉美津江（事務局）

支援功勞

齋藤 紀子（事務局）

▽宇障連会長表彰

自立更生

坂本 礼子（視覚）

支援功勞

中村 弘子（視覚）

支援功勞

数度 美幸（聴覚）

支援功勞

駒崎 茂（肢体）

支援功勞

高根沢 昭（発声）

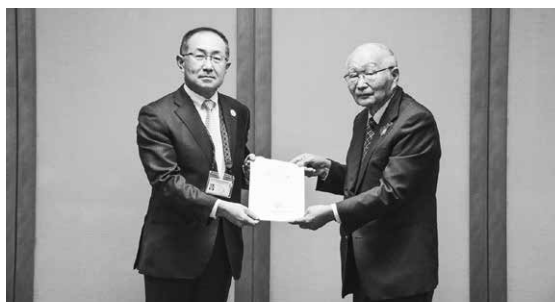


要望書を提出しました

11月20日、宇都宮市役所にて宇障連会員の皆様の声を受けてまとめられた要望書を、宇都宮市の小島保健福祉部長に提出しました。

当日は、麦倉会長のほか、各部署の代表者が同席しました。

各障がい者に共通する要望事項として、災害時に障がい者が速やかに安全に避難できるように、また避難所において安全に安心して過ごすことができるよう「災害時における障がい者に対する支援」や、多様な障がいや必要とする合理的配慮について、市民や事業者への理解促進や意識啓発を進めていただくようお願いする「合理的配慮の提供の義務化を契機とした障がい者に対する理解促進」を要望したほか、肢体障がい者、視覚障がい者、聴覚障がい者、肢体不自由児者父母の会のそれぞれの障がいごとの要望事項を提出いたしました。



ハッピーフェスティバル

11月30日（総合福祉センター）



11月30日に恒例の「ハッピーフェスティバル」を、市総合福祉センターで開催しました。毎年開催されるこのイベントは、歳末たすけあい募金の配分を受け、宇障連会員相互の親睦と交流の輪を広げるために開催しています。

今回は、「エイサーシンカ琉和」の皆様にも迫力のある演舞を披露していただきました。

参加者からは、「迫力がすごかった」「初めてエイサーを見たが感動した」という声が聞こえました。

毎年恒例のお楽しみビンゴ大会では、真剣にビンゴカードを見つめ、読み上げられる数字に一喜一憂していました。

野外交流会

7月6日(土)あしががフラワーパーク

令和6年7月6日(土)、第40回野外交流会が行われました。参加者は会員や家族、ガイドヘルパーなど総勢96名。バス3台に分乗して、あしががフラワーパークを訪れました。

園内のレストランで食事を楽しんだ後はスイレンやゆり、バラなどで香り豊かな園内を自由散策しました。

とにかく暑い日でしたが、日傘をさして園内散策をする方、アイスクリームやかき氷で涼をとる方、涼しいお土産売り場でゆつくりと買い物をする方と、思い思いに過ごしました。

コロナ禍の中止により、5年ぶりの



開催となりましたが、久しぶりのバス旅行ということで車内は絶えず賑やかな話し声で包まれ、楽しい一日となりました。

うつのみや

ふれあいスポーツ大会

10月19日(土)清原体育館



10月19日に宇都宮市清原体育館で第22回うつのみやふれあいスポーツ大会が開催されました。宇障連から参加し

今後の予定

- 2月8日(土) ボウリング大会
- 3月5日(水) 理事会
- 3月13日(木) 評議員会

た皆さんはボッチャ、フライングディスク、ビームライフルの3つの種目に分かれ、真剣ながらも楽しんで競技を行いました。

本会報はボランティアの皆さんの協力で点字版、音声版も発行しています。

点訳 点訳グループ 「かたつむり」の皆さん

音訳 デイジー全文訳センター 「アクセス」の皆さん

ご協力ありがとうございました。

知っていますか?
障がい者スポーツ

5
パラローイング

オールを漕いで速さを競うローイング競技。同時にスタートして2000mを漕いで最初にゴールしたボートが勝利します。シンプルな反面、奥が深いのもこの競技の魅力です。

2008年の北京大会から現在まで、パラリンピックの正式競技として実施されています。

障がいによって有利、不利が出ないように、障がいの種類や程度に応じて3つのクラスがあり、クラスごとに出場できる種目が決められていて、それぞれに合わせたボートを使用します。

クラス	種目	人数	障がい
PR1	男子シングルスカル	1人	上肢と肩のみで漕ぐ選手。体幹は利かない。
	女子シングルスカル		
PR2	混合ダブルスカル	2人	体幹と上肢を使って漕げる選手で、下肢を使うスライド式シートは使えない。
PR3	混合ダブルスカル	2人	四肢に障がいがあるが、下肢・体幹・上肢を使いスライド式シートを使える選手、または視覚障がいの選手。
	混合舵手つきフォア	4人	

PR1とPR2の両クラスで使用するボートは一般とは異なる作りをしています。最も大きな違いはシートがスライドしないことです。一般的なボートのシートはスライド式になっていて、脚を伸ばしてオールを引いて漕ぐ、言わば脚を使って漕ぐスタイルです。しかし、下肢に障がいのある選手は脚を使うことができないため、シートはスライドせず固定してあります。そして残った機能である腕や肩、体幹を駆使してオールを漕ぎます。脚を使わずに漕ぐ選手たちの漕ぎ方は全く異なるもので、それはパラローイングの特徴であり、魅力でもあります。



▲肢体部会の駒崎選手 (2016 リオパラリンピック)